

2023 年オープン予定の大エジプト博物館が参加 福井県立恐竜博物館のオンラインツアーも 観光・博物館がテーマの JICA 主催国際シンポジウム

- 取材対象日時: 12 月 14 日(水)18:00~21:00
 18:00~20:00 基調講演、各登壇者による講演、福井県立恐竜博物館オンラインツアー
 20:00~21:00 パネルディスカッション
- 場所: ハイアットハウス金沢3F H レストラン(住所: 金沢市広岡 1 丁目-5-2)
- シンポジウム名: デジタル化と公共化がひらくミュージアムの未来
- 言語: 日英通訳あり



恐竜博物館
 今井拓哉氏



公立小松大
 朝倉准教授



昨年度、JICA 研修に参加した2名。大エジプト博物館の
 キュレーターとして開館準備にいそむエミー氏(左写真、
 立像の手前)はエジプトから現地報告を、
 立命館アジア太平洋大学に留学中のウズベキスタンの
 ディルノザ氏(右)は金沢の会場に来場予定。

JICA 北陸は昨年度からオンラインで「観光開発政策」研修を実施し、10 カ国 23 名の
 行政官等の人材育成を行いました。今般、コロナ禍を経て進んだ博物館コンテンツの
 デジタル化をテーマに、福井県立恐竜博物館や公立小松大学、文化庁、大エジプト博
 物館が参加する「国際シンポジウム」を開催します。終了後に、主催者、登壇者、参加者
 への取材も可能です(エジプト以外の登壇者は、上記会場にて参加。外国人への取材は通訳あり)。

事前告知記事執筆のご協力と、当日の取材をご検討ください。

【問合せ先】 案件説明: JICA 北陸 野吾(やご) TEL:076-233-5931
 事務局: (一財) 地域振興研究所 新家 TEL:090-2839-0955

Collaborative Symposium with the Grand Egyptian Museum



The Future of Museums: Digitalization and Publicization

Hosted by Japan International Cooperation Agency Hokuriku Center
Supported by Japan Advanced Institute of Science and Technology
Research Institute of Regional and Urban Planning

大エジプト博物館との協働シンポジウム

デジタル化と公共化がひらくミュージアムの未来

ミュージアムにおけるデジタル技術の活用は、これまでも資料のアーカイブの必要性から進められてきたが、コロナ禍を経て、デジタル化したコンテンツのオンライン活用や、オンライン上でのバーチャル展示など、より多様な可能性に目が向けられている。

全ての人に開かれたミュージアムとして、ミュージアムにおけるデジタル化はどのような可能性を持ち、どのように活用していくことが望ましいのだろうか。観光や地域発展との関係はどのように考えられるだろうか。

エジプトと日本の情報を共有して学び合う場としたい。



Eman Mohamed Abd Elmageid (Emy)

大エジプト博物館エジプト中王国時代部門ヘッドキュレーター

キュレーター、エジプト学者、博物館学者。
2005年カイロ大学卒業、2021年ヘルワン大学観光・ホテル科博物館学修士号取得。カイロ博物館パピルス・コインコレクションキュレーターを経て、2018年より現職。
自然資源や文化遺産を次世代に残すことと、地域社会の社会文化的真正性を尊重することを両立させ、観光産業における持続可能な発展を実現するために、地域社会の意識を高めることを目標としている。
読書、写真、サステナビリティに関心がある。



中尾智行

文化庁参事官（文化観光担当）
付博物館支援調査官

1973年大阪府生まれ。専門は日本考古学と博物館学。河内長野市教育委員会、大阪府文化財センター、鳥取県教育文化財団、神戸女子大学非常勤講師、大阪府立弥生文化博物館総括学芸員を経て2020年から現職。
これからの博物館に必要なのは、資料と館活動の公共化、利用者との価値共創を進めることであり、ICTの積極的な活用がその有効な手段となると考えている。



今井拓哉

福井県立恐竜博物館研究員
福井県立大学恐竜学研究所助教

1987年生まれ。東京都出身。博士（理学）。専門は恐竜の繁殖、恐竜時代の鳥類の分類。近年では恐竜化石のデジタルデータ化や、バーチャル技術を活用した教育・普及活動に注目し、「福井バーチャル恐竜展」などを実施している。民間企業との連携にも取り組み、(株)地球科学可視化技術研究所（茨城県つくば市）恐竜技術研究ラボ客員研究員や、(株)恐竜総研（福井県福井市）技術部長も務める。



朝倉由希

公立小松大学国際文化交流学部
准教授

1977年福井県生まれ。京都大学卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士（学術）。2017～2021年度文化庁地域文化創生本部総括・政策研究グループ研究官。文化政策国際比較等に携わる。2021年度より現職。専門は文化政策、アートマネジメント。国や自治体が文化を支える仕組みについて調査研究を行い、芸術文化の多様な意義とその評価のあり方について探求している。文化庁文化創造アナリスト。